

～日照等の耕作条件に左右されない作物導入による経営規模の拡大～

栃木県宇都宮市

都市的地域

取組主体: 地域の担い手(個人)

取組開始時期: 平成28年度

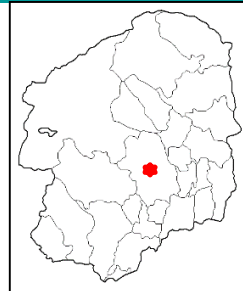
解消面積: 18.96ha(平成29年3月時点)

導入作物: シイタケ

1. 取組のきっかけ・経緯

当市は、肥沃な関東平野の北端に位置し、北部から東部にかけて鬼怒川が貫流し、様々な農産物の栽培に適した地域であるが、新里町甲地区は、圃場整備が実施された区域であるものの、高齢化等を理由に離農する農業者が増加し、荒廃農地の発生が問題となっていた。

一方、意欲ある地域の担い手は経営規模の拡大を検討しており、土地改良区役員の協力を受けて荒廃農地の再生利用に取り組んだことをきっかけとして、地域内における荒廃農地の再生利用の機運を高めた。



2. 取組内容

荒廃農地の再生に当たっては、補助事業(国:耕作放棄地再生利用緊急対策交付金、県:遊休農地解消支援事業)を活用して、再生作業及びパイプハウスの整備を実施した。

また、土地改良区の役員が橋渡し役となって、取組主体と荒廃農地所有者や離農する農業者等との合意形成を推進した。

なお、日照条件が悪い等の耕作条件の理由から荒廃農地となったため、再生した農地は、日照等の耕作条件に左右されない作物(シイタケ)を栽培することで、農地としての有効活用及び経営規模の拡大を図った。

3. 今後の課題・予定など

今後も、荒廃農地の再生利用に係る各種交付金等を活用しながら、荒廃農地を農地として利活用を図る。

経営規模の拡大を検討する農業者に対しては、荒廃農地の解消と併せた規模拡大の取り組みを促していく。

4. 活用した補助事業等

(国)耕作放棄地再生利用緊急対策交付金

(補助内容: H28年度、18.96ha、再生作業及びパイプハウス整備)

(県)遊休農地解消支援事業(補助内容: H28年度、18.96ha、再生作業)



再生前



再生後